



ドリームベッド株式会社 (7791)

2024年3月期第3四半期決算説明資料



2024年2月13日

① 下方修正

家具販売店向けにおける来客数減少が続き、商業施設向け需要回復は来期にずれ込むことによる売上高の減少に加え、八千代第一工場に係る助成金収入は当期業績予想に含んでおりましたが、当期末に名古屋ショールームの隣にロゼ名古屋を併設することによる除却/撤去費用発生から、通期業績見通しを下方修正。

② オーダーマットレスの取扱い開始

立位姿勢を測定し、最適なゾーニングを導き出してお客様の好みに合わせたカスタマイズも可能な「オーダーメイドマットレス」の取扱いを、2023年12月日本橋に移転オープンした東京ショールームにて開始。

③ ロゼ名古屋開設

売上高が伸長しておりますロゼショップを、現名古屋ショールームの隣に併設することで、ロゼ名古屋として2024年6月を目途に開設予定。

④ 今後の見通し

将来に向けた費用増が先行する中、中期経営計画の各施策を着実に実施しており、ligne roset（リーン・ロゼ）の業容拡大、首都圏営業の強化、及びロゼショップ新設による売上高の伸長、粗利益率向上にて、引き続き売上高及び各利益の確保に努めてまいります。



目次

1. 第3四半期の業績概要	P. 3
2. 中期経営計画の進捗	P. 11
1) マルチブランド戦略の強化拡大-製品戦略-	
2) 販売チャネルの強化拡大	
3) 生産技術・能力・機能の拡充	
3. 今後の業績見通し	P. 16
4. Appendix	P. 19

1. 第3四半期の業績概要



1. 第3四半期の業績概要

当第3四半期における売上高は、家具販売店向けで来客数が減り、物価高により耐久消費財へ消費が向かい難いことに伴い減少しておりますが、ligne roset（リーン・ロゼ）商品販売が引き続き好調なことから、全社として**前年同四半期累計期間と比して2.3%減**。

各利益において、粗利率は改善傾向ですが、売上高減少の影響とともに、新工場建設に伴う固定資産除却残発生もあり、四半期純利益で**前年同四半期累計期間と比して43.3%減**。

損益計算書

(単位：百万円)

	2023年3月期 3Q累計実績	2024年3月期 3Q累計実績	増 減
売上高	7,193	7,026	△166
営業利益	250	102	△147
経常利益	287	196	△91
四半期純利益	180	102	△78

1. 第3四半期の業績概要

販売経路別売上高の増減理由

(単位：百万円)

	2023年3月期 3Q累計実績	2024年3月期 3Q累計実績	増減
家具販売店向け	5,510	5,281	△229
商業施設向け	610	536	△74
ショップ/ショールーム	775	932	+156
ハウスメーカー向け	184	193	+9
その他	112	83	△29
合計	7,193	7,026	△166

【家具販売店向け】

- ・当第2四半期より消費者動向の変化にともない、依然として**家具販売店における集客が伸び悩み**、前年同四半期累計期間と比して**229百万円減少**。
- ・一方でligne roset（リーン・ロゼ）は、**法人向けへの営業展開**、**マットレスではラグジュアリーホテル企画が引き続き好調**です。
- ・2023年10月～11月に開催の個展において、商品ラインナップを見直し**Serta Suite Series「サータスイートシリーズ」等の新商品を投入**しております。

1. 第3四半期の業績概要

【商業施設向け】

- ・ホテル業界の宿泊稼働率は対前年比で改善しておりますが、コロナ禍での損失から立ち直りを見せている状況で**本格的回復に至らず**、前年同四半期累計期間と比して**74百万円減少**。
- ・リニューアルや新規案件への投資需要は、**来期にずれ込む見込み**です。

【ショップ/ショールーム】

- ・主力商品であるROSETTogo（ロゼトゴ）発売50周年記念キャンペーンの後に続く第二弾の他、ROSETPloum（ロゼプルム）、ROSETPumpkin（ロゼパンプキン）においても**好調が続いており**、デジタルプロモーションも奏功し、前年同四半期累計期間と比して**156百万円増加**。

【ハウスメーカー向け】

- ・ハウスメーカーによる催事の開催は**回復途上**ではありますが、前年同四半期累計期間と比して**9百万円増加**。

【その他】

- ・**OEM販売の注文が減少**し、対前年同四半期累計期間と比して**29百万円減少**。

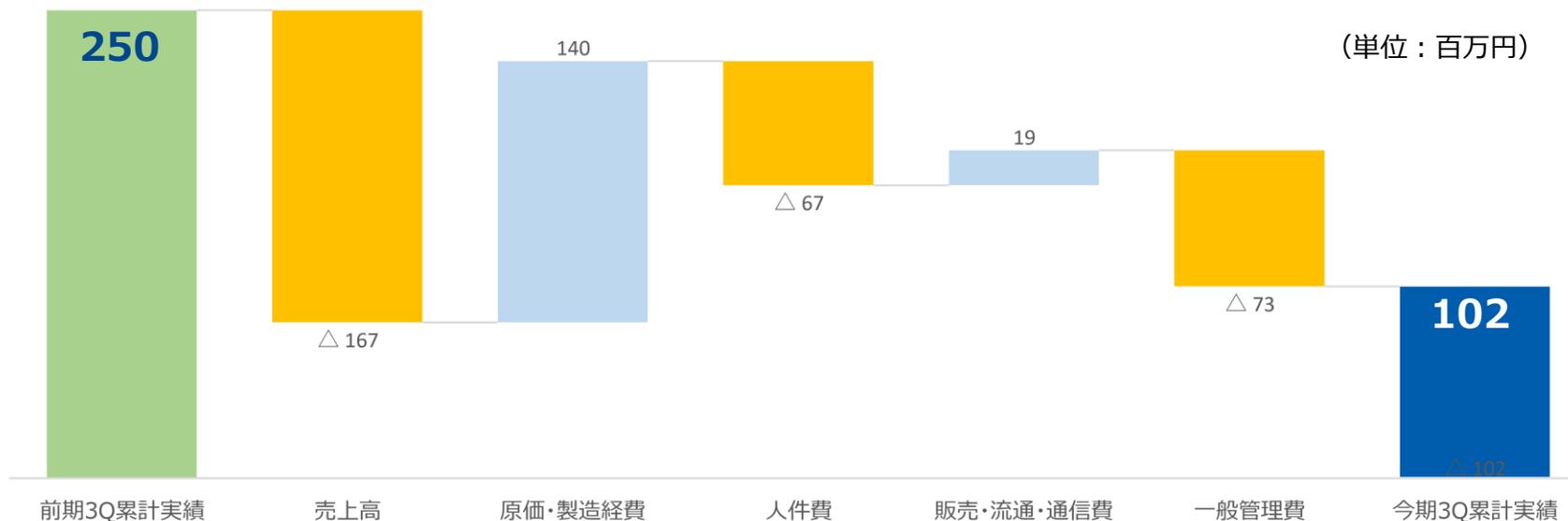
1. 第3四半期の業績概要

営業利益の増減

(単位：百万円)

	2023年3月期 3Q累計実績	2024年3月期 3Q累計実績	増減
営業利益	250	102	△147

- ・対前年同四半期累計期間比で売上高が減少とともに原価・製造経費減少しましたが、新工場建設にともなう償却費、人的資本投資としての人件費、東京ショールーム移転経費、東京及び名古屋ショールームの家賃経費等がそれぞれ増加したことにより、営業利益は対前年同四半期累計期間比で147百万円減少。



1. 第3四半期の業績概要

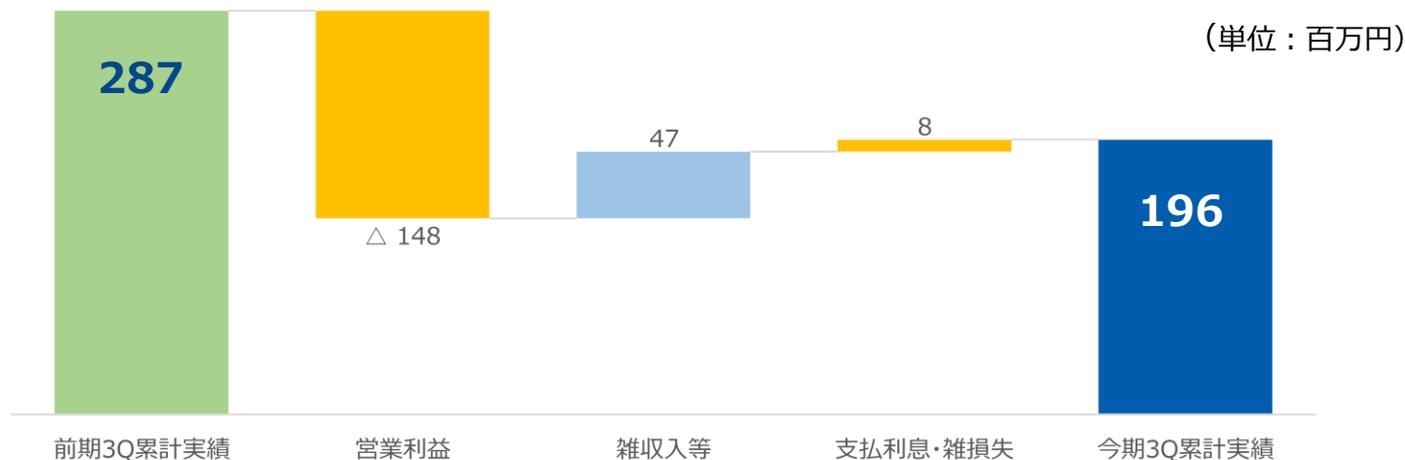
経常利益／四半期純利益の増減

(単位：百万円)

	2023年3月期 3Q累計実績	2024年3月期 3Q累計実績	増減
経常利益	287	196	△91
四半期純利益	180	102	△78

【経常利益】

- ・ 営業利益が対前年同四半期累計期間比147百万円減少しましたが、**役員保険解約返戻金等の雑収入**が対前年同期比43百万円増加したことにより、対前年同四半期累計期間比91百万円減。



【四半期純利益】

- ・ 経常利益が上述のとおり減少したことから、対前年同四半期累計期間比78百万円減。

1. 第3四半期の業績概要

貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年3月期末	2024年3月期 3Q末	増 減	概 要
流動資産	4,039	3,837	△201	売掛金△287、棚卸資産+126、未収消費税等△124、前払費用+107
固定資産	5,607	6,768	+1,161	八千代第一工場建物+1,393、同工場構築物+98 その他資産+81（東京ショールーム敷金）、建設仮勘定△463（振替）
資産合計	9,646	10,606	+959	
流動負債	4,175	4,253	+78	未払金+173、短期借入金+146、預り金+54、支払手形△179、賞与引当金△96
固定負債	1,420	2,287	+866	長期借入金+850（シジケート0-ン）
負債合計	5,595	6,541	+945	
純資産	4,050	4,065	+14	利益剰余金+102、配当金△127 その他有価証券評価差額金+19、資本剰余金+2、自己株式の処分△16、
負債純資産 合計	9,646	10,606	+959	

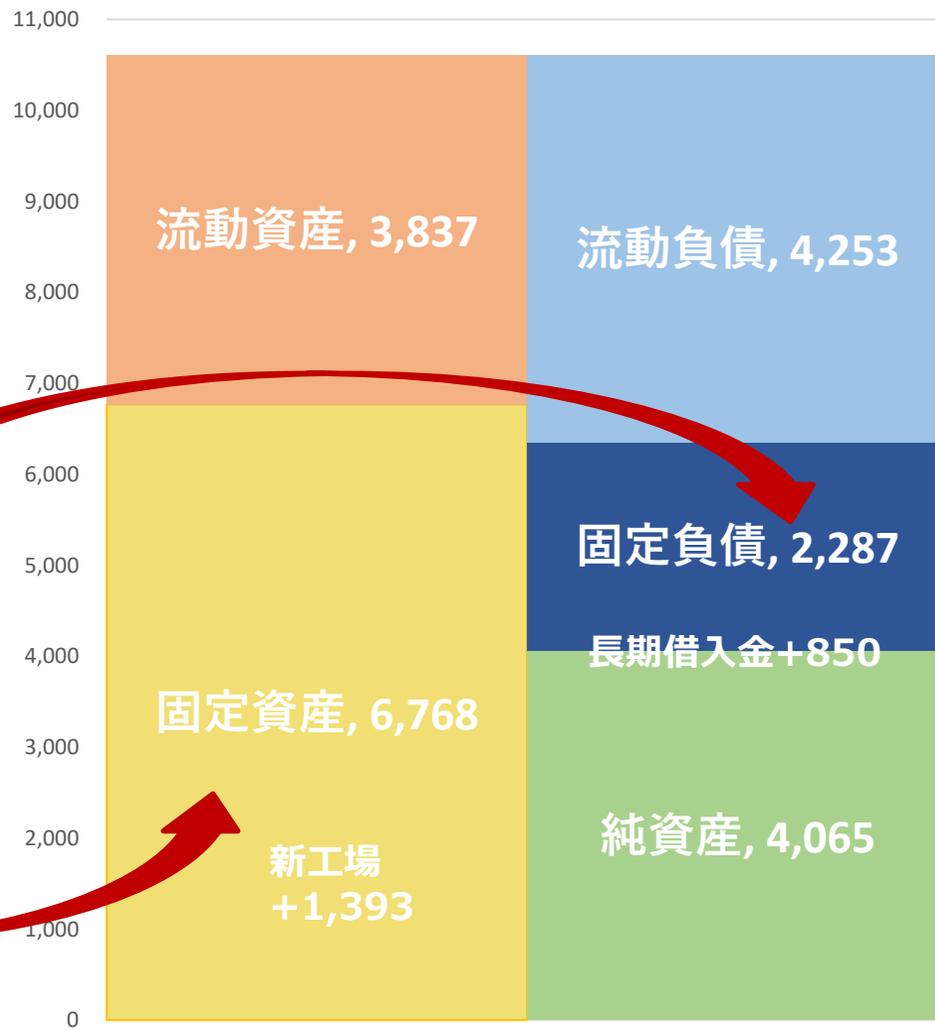
1. 第3四半期の業績概要

(単位：百万円)

貸借対照表



2023年3月期末



2024年3月期3Q末

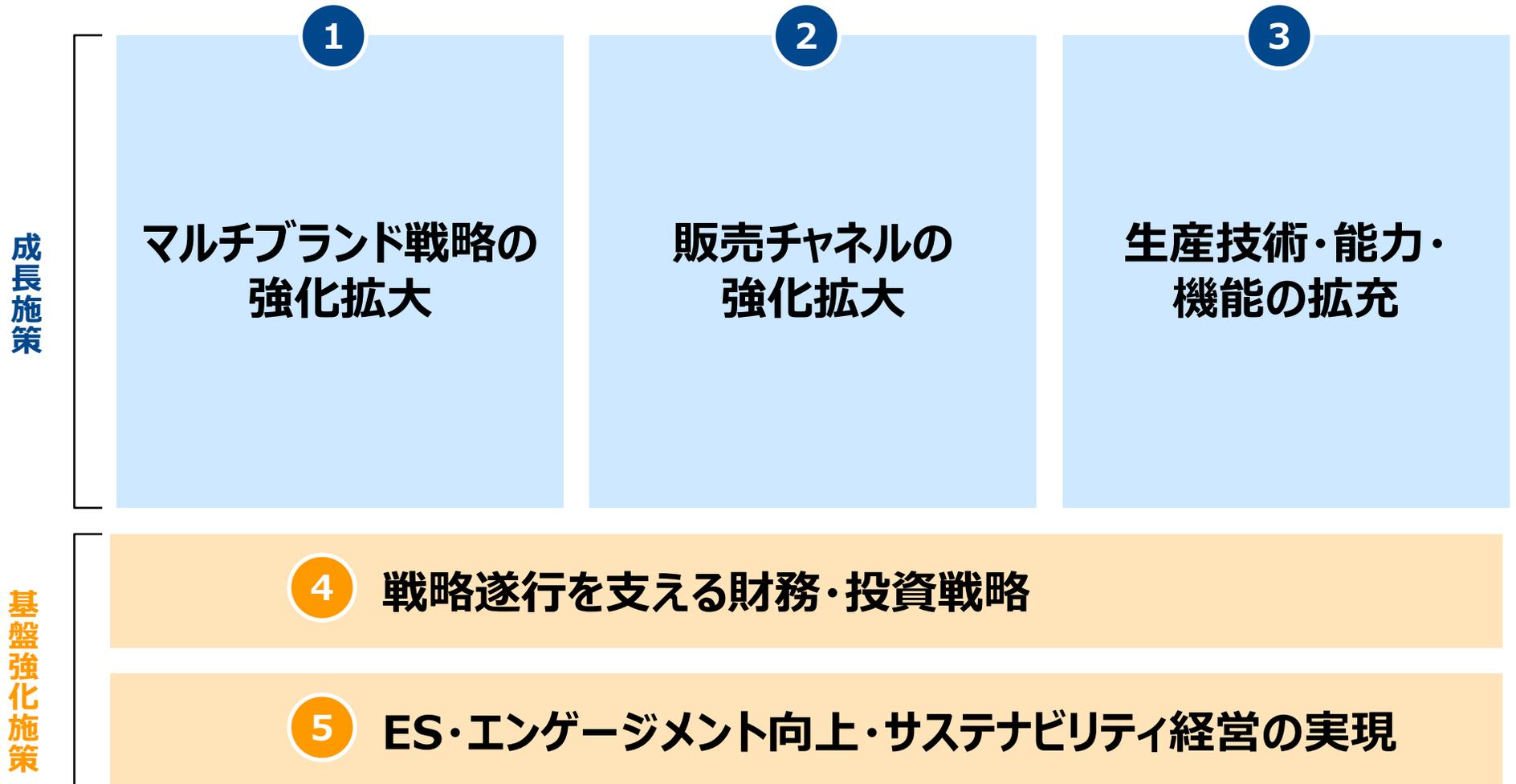
2. 中期経営計画の進捗





将来の飛躍に向けた基盤固め

中長期の需要増加を確実にとらえるための基盤整備を行う



① マルチブランド戦略の強化拡大 -製品戦略-

世界に1台だけのマットレス「The Dream」



- ・専用のデジタル立位測定器で計測する精密なデータと**独自のアルゴリズム**から導き出された**寝心地**をその場で体験いただけるフィッティングマットレスを設置。
- ・**デジタル立位測定器**はオーダーメイドマットレス専用
に新規開発し、**レーザーで測定**することで従来の画像による認識よりも正確な測定を行うことが可能に。
- ・ひとりひとりに**理想の寝姿勢、寝心地のオーダーメイド**マットレスを製造。



※ 画像はイメージです。
実際には背中側で測定します

② 販売チャネルの強化拡大

ロゼ名古屋の開設（2024年6月頃予定）



- ・当社中期経営計画における「販売チャネルの強化拡大」で、ショップ、ショールームの出店計画に沿って、このたび**高集客、高収益が望める名古屋エリア**で、現名古屋ショールームの隣に併設して「ロゼ名古屋」を開設することで、現ショールームとの**シナジー効果も期待**できるものです。

【中期経営計画より抜粋】



③ 生産技術・能力・機能の拡充

新工場縫製完成棟の竣工

【新工場概要】

床面積：新スプリング棟 6,659.94㎡

縫製完成棟 9,271.72㎡

生産品目：ベッドマットレス

- ・ 2022年12月に着工した八千代第一工場縫製完成棟の**工事が終了し2023年12月13日に竣工**。
- ・ 先に工事が終了しているスプリング棟に、本縫製完成棟の竣工により、当社のマットレス製造を担う八千代第一工場の建設が終了。
- ・ 縫製完成棟は、**2024年1月より稼働済み**。



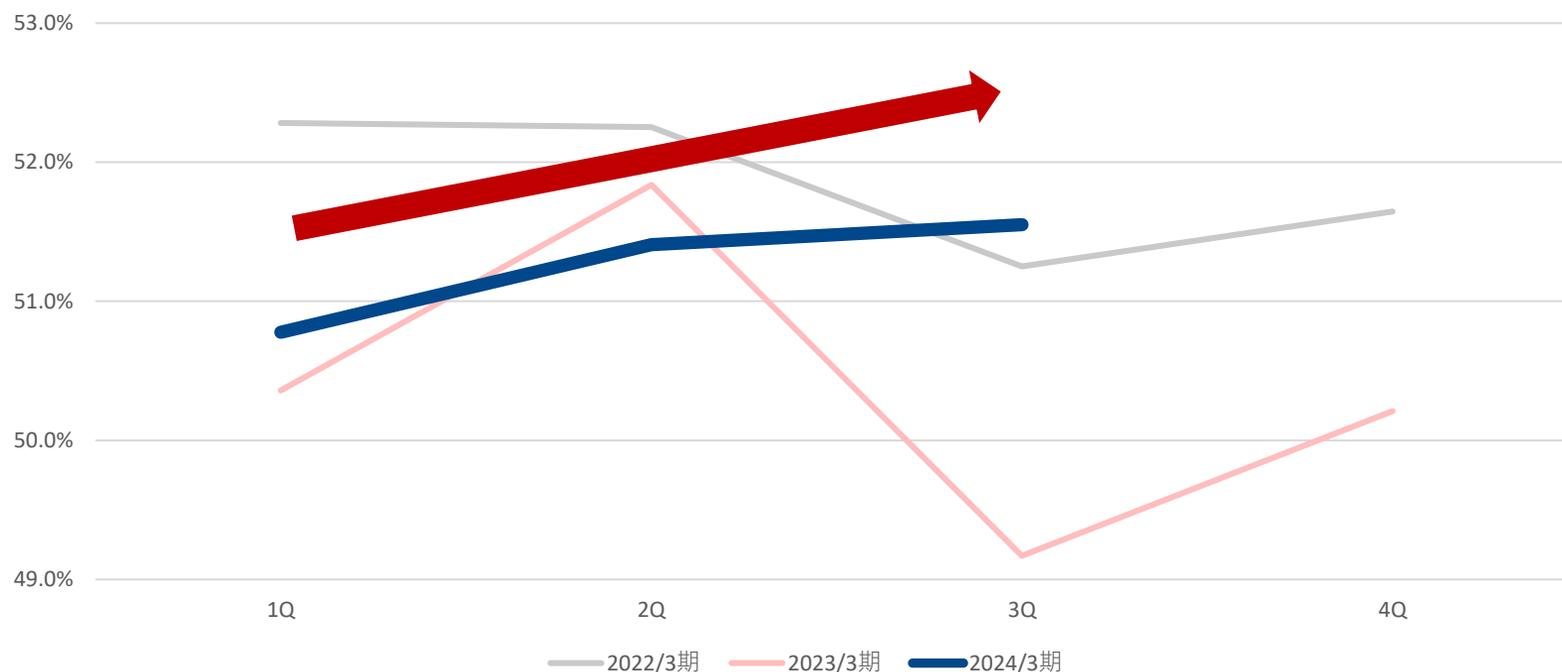
3. 今後の業績見通し



3. 今後の業績見通し

粗利益率の改善

- 売価値上げ、高利益率であるロゼ売上高の伸長により、第3四半期においても粗利益率の改善傾向は続いております。
- 来期に向けて**粗利益率が向上**することにより、先行投資費用をカバーし利益増加を見込むものです。



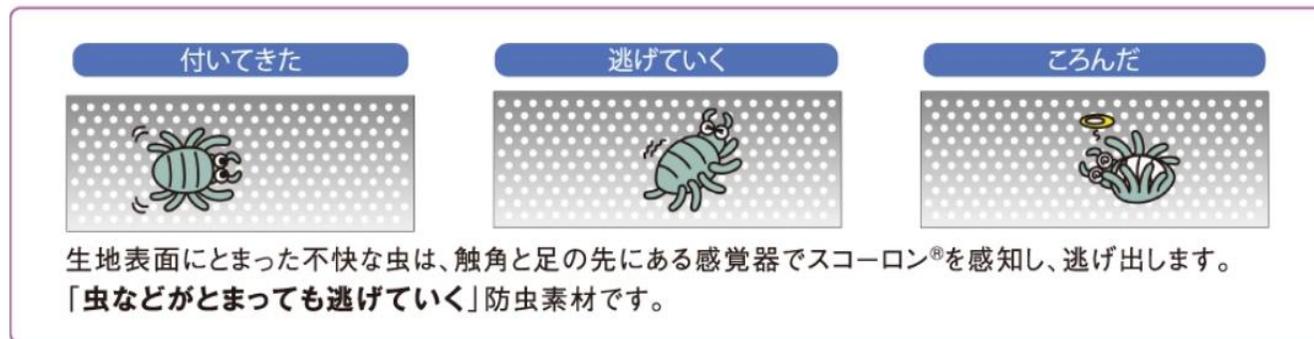
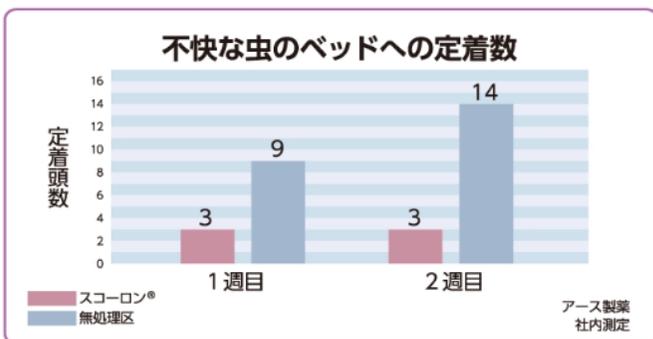
3. 今後の業績見通し

商業施設向けの来期回復

- 本格的には来期に**需要はずれ込む見込み**です。
- ホテル稼働率も対前年比で上昇し、不動産各社や外資系ホテルが**インバウンド消費を見込んで投資計画を相次ぎ発表**しており、当社商業施設向けにおきましても、既に**今年年間売上高に匹敵する注文問い合わせ**をいただいております。
- 当社は従前より帝人フロンティア(株)とアース製薬(株)の**共同開発による防虫素材「スコーロン」**を使用したマットレスの導入で、近年各国で被害が広がっている**「トコジラミ」への対策**により、差別化を図ってまいります。



Serta サータFS-6000S
SCORON® 使用



4 . Appendix



平均1週間の受注生産体制を構築

平均1週間



マットレス、ベッドフレームのほか、ソファ、寝装品へと商品層を拡大

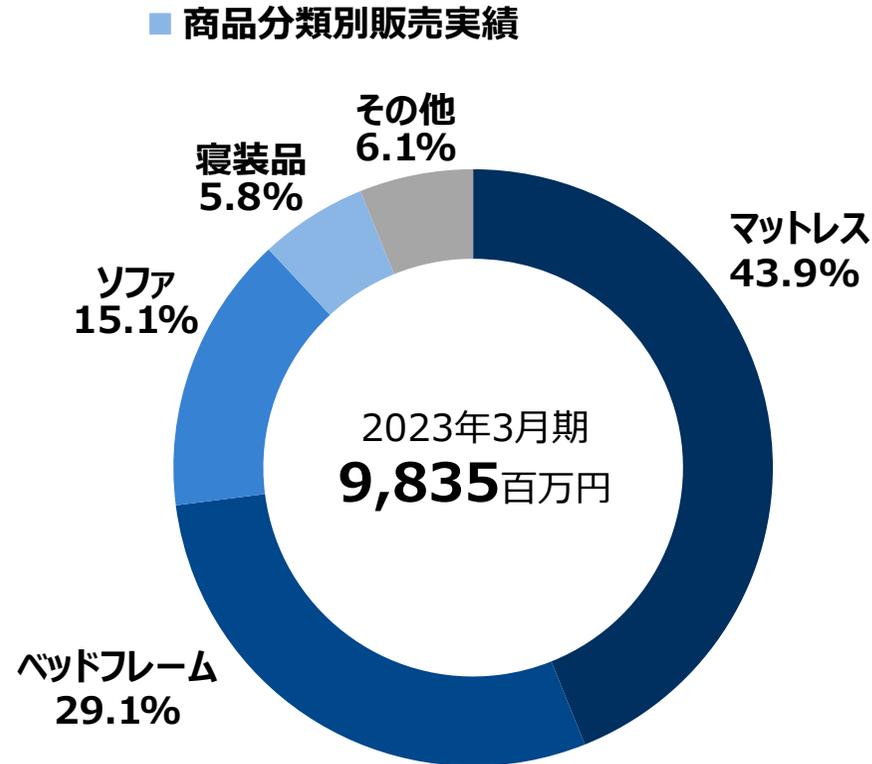
寝装品



ソファ



マットレス・ベッドフレーム





Serta「サータ」について

高い製造力が評価され、アメリカのサータ社とライセンス契約を1979年に提携し、40年来にわたる信頼と実績を築く。



サータ



米国で8年連続シェアトップ※

※2011~2018年

出典：ファニチャートゥデイ誌2019年6月出版号



世界25社とライセンス契約し主要50カ国以上に展開※
多くの一流ホテルのスイートルームに導入

※1 出典：ファニチャートゥデイ誌2019年6月出版号

※2 2023年1月現在

Serta Tradition 「サータトラディション」について

Serta「サータ」創業90周年を記念して、新商品を発売。

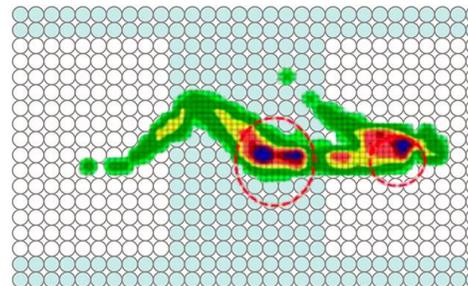
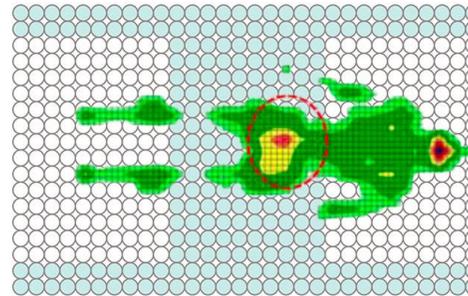
従来品の「3ゾーン/5ゾーン」に比して、新たに3種類のポケットコイルを用いることで、サータトラディションの革新的な「11ゾーン」のポケットコイル配列から醸成される、今までにないきめ細かな寝心地（抗菌／防ダニ／防カビ／抗ウィルス加工）。



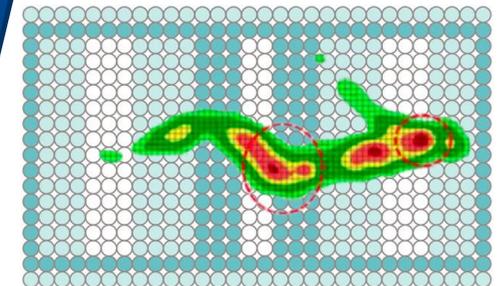
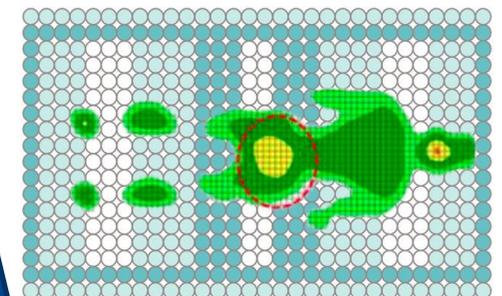
新しい需要を開拓



従来のゾーニング



Serta 11zone



ペアリングツイン・プレミアムホテルコラボレーション について

戦略商品・キャンペーンに関するデジタル広告を配信し、消費者の来店・販売を促進

ペアリングツイン (注)

マットレスを組み合わせることで2つの寝心地を実現



ダブルよりも、ぐっすり眠れる。
ツインよりも、そばにいられる。
ふたりの長い人生を心地よくする、
ちょうどいい眠りのカタチ。

プレミアムホテルとのコラボレーション企画

ホテルのスイートルームで採用される特注品を販売



breathfort®



革新的な特許素材「breathfort®」を採用

一般的な低反発のデメリットを大幅に改善し、
圧倒的な通気性と耐久性が特徴

※イノアックコーポレーションの登録商標

(注) シングルマットレス2台を接して並べ、その隙間にパッドを置き1枚のボックス シーツで覆い、

一つのベッドに2つの寝心地を実現した新たな眠りのカタチ。

「Serta Sleep Site (サータスリープサイト)」について

デジタルマーケティングを主とした政策、並びにホテルコラボ企画等、様々な取り組みにおいて、“デジタルとリアル”の連動性をもたせ、お客様の誘致を図り相乗効果を狙う（商品研修、Serta公式サイト優先公開、特別販促企画支援、バーチャル支援等の連携）。





- 本資料には、将来の業績に関する予想、計画、見通しなどの記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
- 将来の業績は、主要市場の経済情報、製品需要の変動、為替相場の影響、国内外の各種規制、会計基準・慣行等の変更により、大幅に異なる可能性があることをご留意ください。
- 本資料は情報の提供を目的として作成したものであり、本資料によって何らかの行動を勧誘するものではありません。

dream bed

(お問い合わせ先)
ドリームベッド株式会社 経営企画部
<https://www.dreambed.co.jp>
keiki@dreambed.co.jp